



第11回気象庁数値モデル研究会

平成30年5月15日 16:00～
於 気象庁講堂

「台風・集中豪雨の予測精度向上に向けた
数値予報技術開発の方向性」

数値予報モデル開発懇談会



- 第1回 平成29年7月20日 / 第2回 平成29年12月26日
- 第3回 平成30年7月19日（予定）



モデル開発に係る取組み



- **社会ニーズを踏まえた目標設定**
 - 防災面「台風」「集中豪雨」
 - 総合的な計画
- **目標に即した評価指標**
 - 従来スコア以外にも
- **開発の基盤**
 - **機材**、手順、思考
- **研究機関との連携強化**

この後、本田から
ご紹介

気象庁のスーパーコンピュータ



- 写真は、半分（正・副2系統あり）



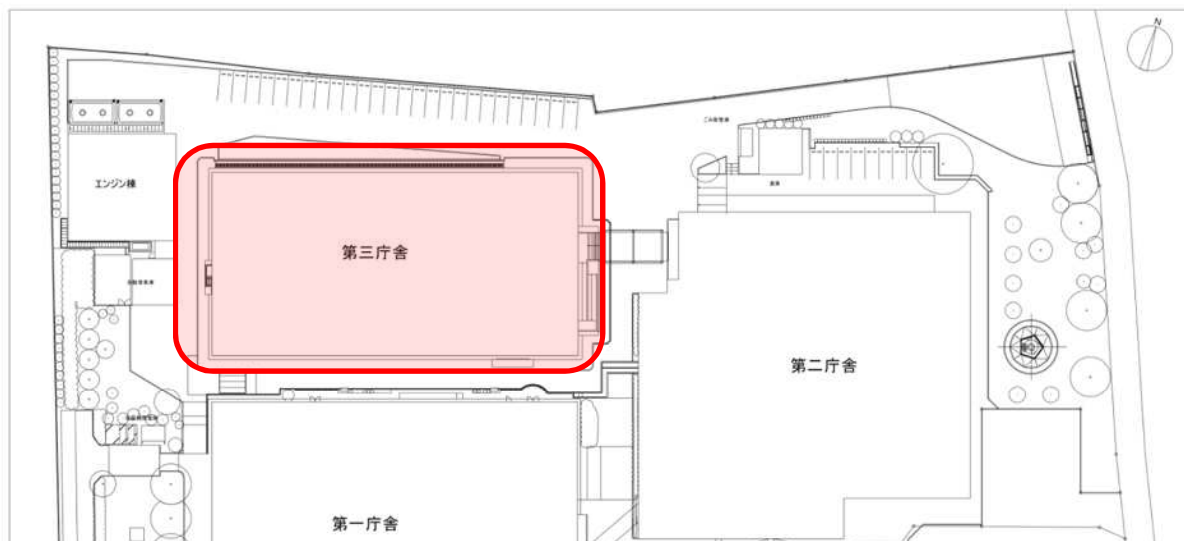
設置場所（東京都清瀬市）



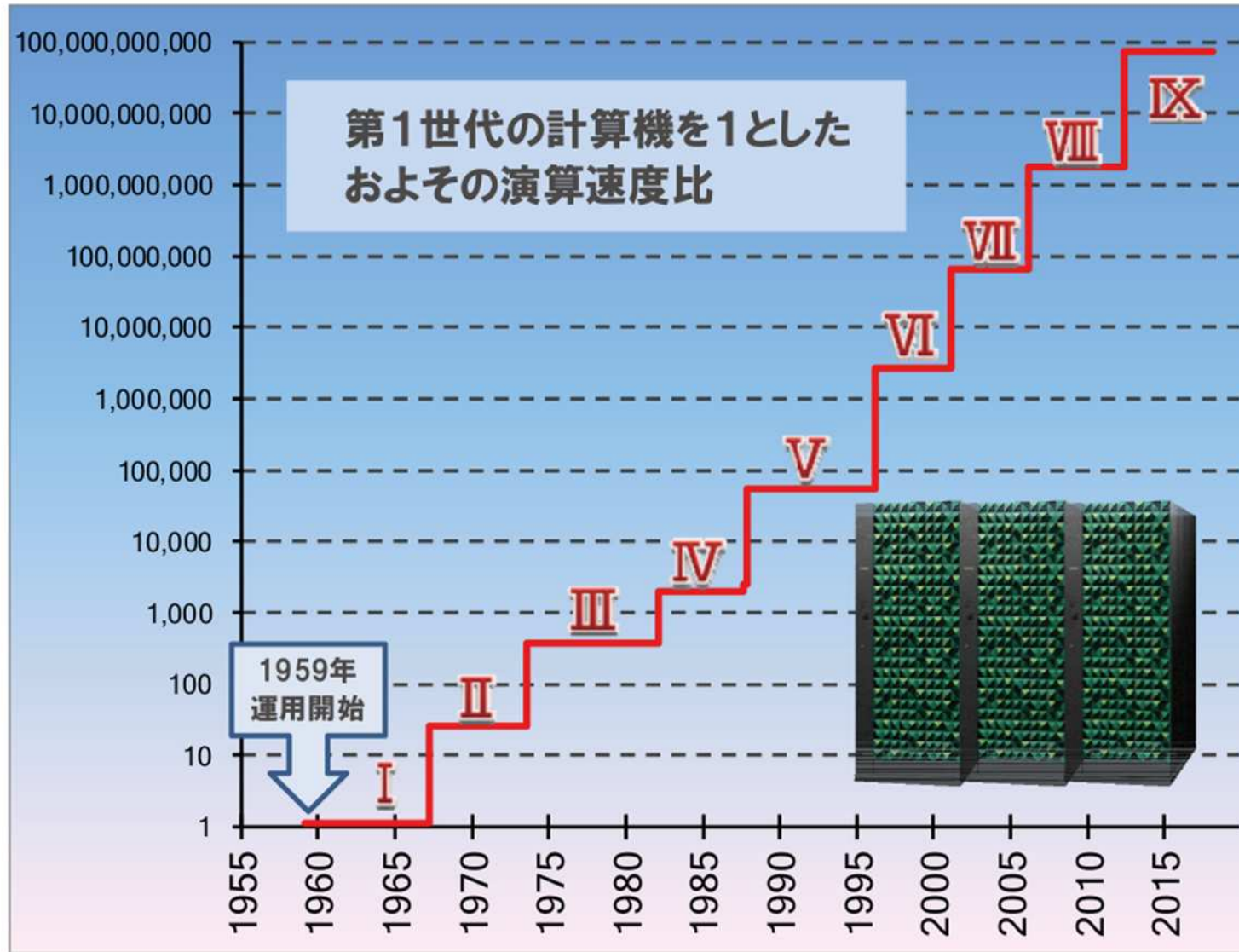
清瀬庁舎構内平面図

(図12)

12)



数値予報に用いる計算機の変遷



次期スーパーコンピュータ

明日5/16報道発表



- 6/5運用開始予定
- 気象庁ベンチマークで、現システムの約10倍の実効性能
- LINPACKは、2系統を合計すると「京」に匹敵





スパコン更新による、主な改善計画

明日5/16報道発表



- 台風強度予報の予報期間の延長
 - 3日先まで 5日先まで（平成30年度末までに実施予定）
- 降水予測情報の改善
 - 降水短時間予報の予報時間の延長
 - 6時間先まで 15時間先まで（H30年6月下旬予定）
 - 「メソアンサンブル予報システム」運用開始
 - 集中豪雨や暴風などの災害をもたらす現象の予測に、複数予測の手法を導入（平成31年度早期に実施予定）
- 2週間気温予報の開始（平成31年度早期に予定）等
- 黄砂予測の改善等
- 上記以外にも順次、各種気象情報を改善・充実